

年 組 名前:

希少食材と料理人 橋渡し

県がマッチングシステム

山梨県は早ければ今夏にも、伝統野菜や有機野菜など希少価値の高い農畜水産物を使う県内の料理人と、高品質な農畜水産物やその加工品をつくる県内生産者をつなぐマッチングシステムを導入する。SNS（交流サイト）を活用したシステムを通じて、生産量や流通の少ない食材と、高品質な食材を求める料理人が結びつく場を設ける。県産食材の利用促進や観光消費額の向上につなげる狙い。

県観光振興課によると、マッチングシステムの運営などを担う食材コーディネーターの配置も検討する。主な利用者は、県内の農産物生産者と飲食店などをつくる「やまなしグルメマン・エコノミー会議」に関する料理人や生産者らを想定。県産食材や県産酒の利用促進、県内の経済活性化などの向上につなげる。

高品質の食材を求める料理人は、伝統野菜や有機野菜な

観光「美食」で付加価値

ど希少価値の高い農畜水産物や加工品を求めているが、生産地域や生産者の情報が乏しい場合がある。また、伝統野菜や有機野菜などの県産食材は生産量が少なく、市場を経由した流通が困難なケースもあり、生産者は自ら販路を開拓する必要があるが、「料理人に関する情報を入力する手段がないのが現状」（同課）となっていた。

県は、山梨の食材を生かした美食文化を築き、多彩な料理人が集まり、美食を味わう体験を求める人々が県内を訪れ、ビジネスチャンスが生まれる「グルメマン・エコノミー（美食経済）」でにぎわう地域を目指している。食材流通の活性化を図るため、料理人と生産者をつなぐ仕組みを検討していた。

同課の担当者は「観光産業の高付加価値化を図り、消費額の向上を図りたい」と話した。

（小池直輝）

(2024年6月14日付 山梨日日新聞1面)

問1

山梨県は、県内料理人と県内生産者をつなぐマッチングシステムを導入します。

具体的には、どのような仕事をしている人ですか。

県内料理人:

県内生産者:

問2

次の文章の①から⑥に当てはまる言葉を、答えてください。

『山梨県は、この活動で、山梨の①を生かした②文化を築き、多彩な③が集まり、④を味わう⑤を

求める人々が県内を訪れ、⑥が生まれる「⑦・⑧(美食経済)」でにぎわう地域を目指している』

① ② ③ ④ ⑤

⑥ ⑦

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2024 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.